

◇◇◇◇◇2018年度 北海道支部 第3回研修会報告◇◇◇◇◇

日時：2019年2月16日(土) 9:30～12:30

会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階中研修室

テーマ：実践報告 発達障がい等に対応する通級指導教室「まなびの教室」でのアセスメントから指導へ

講師：山下公司 氏 (札幌市立南月寒小学校)

概要：札幌市は、平成21年度に発達障がい等に対応する通級指導教室「まなびの教室」を立ち上げ、ニーズの高まりを受け徐々に教室数も増えていきます。今回は豊富な指導経験をお持ちの山下先生に「まなびの教室」の概要と実践についてお話しいただきました。はじめに山下先生が大切にしている「共同作戦」というキーワードがあげられました。子どもの願いからスタートし、子ども自身が主体的に取り組むことができるようにする視点の大切さ、目標は「あれもこれも」から「あれかこれか」とポイントを絞っていくことの大切さ、また、ダイヤモンド(子どもの欲求)に配慮したアセスメントを行うことについても、具体例をあげてお話されました。アセスメントと支援については、障がいの判断と支援のための2つのアセスメントが述べられ、支援のためのアセスメントとしての配慮として、個人間差よりも個人内差を大事にすること、あたたかいところとクールな視点をもつことがポイントであることが示されました。また、ソーシャルスキル尺度やCBCL、ADHD-RSなどのチェックリスト、WISC-IVやK-ABC IIなどの心理検査、森田愛媛式読み書き検査、LD-SKAIPなどの学力検査など様々なツールを使ったアセスメントについて説明がありました。ただし、アセスメントした結果を見て「ほら、やっぱりね」で終わることは絶対にダメで、アセスメントでわかった苦手さへの手だてを立てて支援することの大切さが述べられました。また、連携のために個別の指導計画と個別の教育支援計画を作成し支援することが大切で、新学習指導要領では通級指導教室と特別支援学級で義務付けられ、作成することは今後通常学級でも当たり前になるであろうということでした。後半は、先生の豊富な経験の中から、学習指導、小集団・大集団指導について、具体的な指導事例が説明されました。ノートの代わりにポメラを使って授業内容を記録し勉強した事例など、特性に合わせ「やったらできた」という体験を重ねることの大切さが述べられました。最後に、SST(ソーシャルスキルトレーニング)の「気持ちビンゴ」の体験や「じゃんけんポンポン」「カエルキャッチ」などのワークの説明がありました。明日からの実践に役立つ貴重なお話でした。参加者は講師を含め63名でした。(文責 石川和男)

◇◇◇◇◇2018年度 北海道支部 第4回研修会報告◇◇◇◇◇

日時：2019年2月16日(土) 13:30～16:30

会場：札幌市生涯学習センター ちえりあ 2階中研修室

テーマ：事例報告 臨床発達心理士のアセスメントと支援の実際

〈事例報告1〉

テーマ：「集団及び家庭生活に課題のある児童とその関係者に対する、通級指導教室の支援事例」

発表者：千葉道代 氏（札幌市立前田小学校）

概要：事例報告1では、小学校の通級指導教室での支援事例について、諸検査の結果をもとに長期目標、短期目標を作成し、指導した各ステージごとの結果（経過）報告がありました。家庭や学校・担任等と連携して支援した内容について、強化（ごほうび）の例や日記、教材、支援計画などを示しながら報告していただきました。フロアからは、家庭との連携では通級指導教室の先生はどこまで入り込めるのか、札幌では支援会議はどのような手順で誰が招集するのかなどの質問が出されました。

〈事例報告2〉

テーマ「無発話自閉症児に対する言語行動の形成—模倣行動の漸次的接近を用いた指導—」

発表者：河内哲也 氏（北海道社会福祉事業団 太陽の園）

概要：事例報告2では、自閉症の幼児の模倣行動（言語行動）獲得を目指した指導の実践報告がありました。目標行動をスモールステップにわけ、課題分析をすることによって音声模倣ができるようになることを目指し、行動観察アセスメントを随時行いながら、社会性や運動・行動などの実態を把握し、心理相談室で月2回家庭と連携しながら指導を行った事例でした。標的行動を単語表出模倣（エコラリア）とし、ステップ1～6の段階で、動作模倣から音声模倣、単語模倣へと指導し、模倣が形成された事例でしたが、プロンプトや賞賛の工夫など行動療法の説明も含む発表でした。フロアからは、フェーディングの方法、保護者との連携などの質問が出され、活発な質疑応答が行われました。

参加者は発表者を含め58名でした。（文責 石川和男）

◇◇2019年度 臨床発達心理士会北海道支部 総会、第1回・第2回研修会のご案内◇◇

支部総会は、北海道支部の活動方針など、様々なことを決定する機会になります。そのため、できる限り支部会員の方のご出席をお願いいたします。今年も4月に会員の皆様に往復葉書をお送りし、事前に出欠の確認を行わせていただきます。返信はがきにご記入の上、5月1日(水)までに投函してください。往復葉書は総会の委任状も兼ねます。総会成立には、委任状を含め、会員の過半数の出席が必要となりますので、総会を欠席される方につきましても、必ずご返信をお願い致します。

研修会については、支部総会終了後に第1回支部研修会、翌日に第2回支部研修会を開催致します。支部研修会の出欠確認はしておりません。研修会の参加申し込みも不要です。なお、支部に関するお問い合わせにつきましては、北海道支部事務局までメールでお願いいたします（cdp.hokkaido@gmail.com）。

総会と研修会の詳細につきましては、以下の通りです。支部会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

《2019年度 日本臨床発達心理士会北海道支部 総会のご案内》

日時：2019年5月11日（土曜日）13:00～14:00（受付12:30～）

会場：札幌市西区宮の沢1条1丁目 ちえりあ 2階大研修室

URL <https://chieria.slp.or.jp/>

（札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄東西線宮の沢駅から地下直結通路で徒歩5分）

内容：2018年度活動報告・決算報告 2018年度活動計画・予算案・役員選出等

《2019年度 日本臨床発達心理士会北海道支部 第1回研修会のご案内》

※ **第1回研修会は資格をもたない方も参加できます。申し込みは不要です。**

日付：2019年5月11日（土曜日）

時間：14:30～17:30（受付14:15～）

会場：札幌生涯学習総合センター ちえりあ 2階大研修室

テーマ：「気になる」子どもの発達的特徴の理解と支援の方向性

講師：本郷一夫先生（東北大学大学院教育学研究科）

参加費：会員 500円 非会員 1000円

ポイント数：1.0

概要：本研修会では、障がいの確定診断を受けてはいないものの、保育・教育の場での適応に困難さを抱える子ども、いわゆる「気になる」子どもに焦点を当て講義を行う。具体的には、「気になる」子どもへの支援の事例などを通して、(1)「気になる」子どもの行動特徴（5つの行動因子と状況性）、(2)「気になる」子どもの行動の背景（発達の多要因性）、(3) 幼児期から青年期までの「気になる」行動の変化（発達の時間軸）、(4)「気になる」子どもの支援に関する基本的考え方（発達アセスメントと支援のアクションリサーチ的循環）について講義を行う。

《2019年度 日本臨床発達心理士会北海道支部 第2回研修会のご案内》

※ **第2回研修会は資格をもたない方も参加できます。申し込みは不要です。**

日付：2018年5月12日（日曜日）

時間：9:30～12:30（受付：9:15～）

会場：札幌生涯学習総合センター ちえりあ 2階大研修室

テーマ：「気になる」子どもの発達アセスメントと支援計画の立案

講師：本郷一夫先生（東北大学大学院教育学研究科）

参加費：会員 500円 非会員 1000円

ポイント数：1.0

概要：本研修会では、「気になる」子どもの発達アセスメントと支援計画の立案について講義とグループワークを行う。具体的には、(1)「気になる」子どもの行動チェックリストを用いた行動特徴の把握、(2) 社会性発達チェックリスト（改訂版）を用いた発達的特徴の把握、(3)

複数の場面における行動観察結果の比較による「気になる」子どもの特徴と環境との関係についての把握について講義を行う。また、発達アセスメントの結果を踏まえ、どのように支援計画を作成するのかといった点についてグループワークを行うとともに、支援計画の立案の具体的方法について講義を行う。

—研修会参加に関する注意事項—

- 1) 士会会費未納者（過年度未納を含む）の参加は認められません。
- 2) バーコード付き ID カードで本人確認とポイント発行を行いますので忘れずにご持参下さい。
- 3) 当日に ID カードを忘れた場合は、ポイントを発行できません。
- 4) 研修会開始 10 分以上の遅刻、途中退席、早退の場合にはポイントを発行できません。
- 5) 当日会場が満席になった場合は、聴講をお断りさせていただく場合もございますので、ご了承ください。なお、会場は 90 名弱の席を予定しております。

—参加記録ノートについて（2016 年度以前の資格取得者対象）—

- 1) 士会事務局からの案内（郵送物、ホームページ等）をよくご覧のうえ、各自ご対応ください。
- 2) 士会ホームページ上に「【重要】臨床発達心理士資格更新ポイント管理の移行について」が掲載されています。
- 3) 2016 年度以前に「参加記録ノート」に貯めていたポイントは、各自で SOLTI システムに登録する必要があります。
- 4) SOLTI へのポイント登録後も「参加記録ノート」は必ず保管しておいてください。

◆◆◆支部役員について◆◆◆

北海道支部は、支部役員を中心に運営されています。支部役員は、支部長をはじめ、副支部長、幹事、事務局長、研修、会計、広報に担当が分かれています。任期は3年になっています。支部会員の皆様から、新たに支部役員を引き受けていただける方を募集いたします。支部役員は、メールによるやりとりを中心にしながら、直接集まる会議は支部研修会の日を設定するなどして、できるだけ負担が少なくなるように運営しています。ですので、遠方の方でもお引き受けいただくことは可能です。もし、支部役員を引き受けても良いと思われましたら、お名前、希望する業務（質問でも構いません）を、北海道支部事務局（cdp.hokkaido@gmail.com）までメールにてお知らせください。たくさんの方からのご連絡をお待ちしています。

なお、2019年度は、事務局長(1名)が任期満了による改選となります。また、研修を企画する役員(2名)を募集します。支部規約上、これらの業務は、支部総会での会員互選を経て決定となります。希望される場合は支部総会前の4月26日(金)までに北海道支部事務局に、その旨をお知らせください。

(北海道支部長 三浦 文)